

thirdhand-smoke

染みついた煙成分の有害物質暴露

タクシー空間の サイドハンドスモークに「用心!!」

喫煙者の髪、衣類に付着した有害物質に暴露される

国内ではほとんど報道されない話題ですが、米国では2004年頃から指摘されています。

受動喫煙は、吸わない人が喫煙者由来の有害なタバコ煙に暴露されることで、サイドハンドスモークとは、煙が消失した後、煙に含まれる物質が、喫煙者の髪の毛、衣類、部屋のカーテン、ソファなどに付着し、それが汚染源となって、非喫煙者がタバコの有害物質に暴露されることです。

ニコチンは、屋内の壁、じゅうたん、カーテン、家具などの表面に付着して凝結し、何カ月も残存するこ

加藤一晴

子どもをタバコから守る会・代表/医師

とが可能です。そして、こうしたニコチンが周囲の亜硝酸と反応すると、発癌性物質のタバコ特異的ニトロソアミン (TSNA) が生成されることが、実験で確認されました。

人間は、チリを吸い込んだり、カーペットや衣服に触れることで、TSNAを摂取してしまう可能性が高いといわれます。こうした3次のな喫煙は、特に乳幼児にとって危険です。ハイドロジェンシアンライド(化学兵器に使用)、ブタン(ライター燃料に使用)、トルエン(シンナーに含まれる)、ヒ素、鉛、一酸化炭素、ポロニウム210(2006年にロシアのスパイ、アレキサンダーV・リトビネンコ暗殺に使用された高度放射性発癌物質)などが含まれるか

からです。

それでは、現代社会において暴露されることは無いのでしょうか？
実は、タクシー空間がそれに相当します。

**完璧に禁煙化された
タクシー空間の盲点**

2011年7月1日、北海道の全車両が禁煙化され、タクシー車内は清廉な環境になりました。タクシー乗務員からは、

- ① 車内清掃が楽になった
- ② 煙いのを我慢しなくてよくなった

た

③ 灰皿交換が不必要になった
との声も聞かれ、良いこと尽くめのように錯覚します。しかし、タクシ

thirdhand-smoke

染みついた煙成分の有害物質暴露

現在ではニコチン貼付剤も内服薬も選択できるので、良い時代になりました。あるいは、藤沢市で開業医をしている長谷章先生のように、配車時に「非喫煙者の乗務員を要求する」のもよいかも知れませんが。

乗務員さんの多くは、禁煙願望があります。周りで起きている悲劇に対し、「俺はタバコ病にならない」「あいつは運が悪かっただけ」などと根拠のない言い訳をするものです。更に運の悪いことに、彼らには自由になる時間が少なくはないのです。街を走っていれば、タバコ自販機やコンビニエンスストアが目に入り、禁煙する条件は遠のきます。

タクシー空間が禁煙化されて久しいのです。今ではトラブルはほとんどないと言ってよいでしょう。社会環境の禁煙化は、知らぬまに自身の周囲に及んでいます。となれば、乗務員さんたちが禁煙するための必要条件は整いました。そうして全て吸わない乗務員が揃えば、車内サードハンドスモークは過去のものとなるはず。

最近体験した嬉しい話

昨年末のことです。自宅から講演会に出かけるため（株）遠鉄交通にタクシー配車を依頼しました。そのタクシーに乗車するうちに、2007年8月に浜松市雄踏文化センターで開催した「乗務員向けの講演会」の話題になりました。浜松タクシークラス協会は、雄踏文化センター大ホールに500名の講演会を準備したので

乗務員さんは今から6年前の講演内容を、つい昨日のことのような臨場感で話してくれました。当時、喫煙者だった彼は、間もなく禁煙したそうです。6年前の講演内容を覚えていてくれたことに驚きました。

講演会からの帰りも、（株）遠鉄タクシーを利用しました。その時の乗務員さんも、6年前の講演会のことを鮮明に覚えていました。長男が生まれると同時に禁煙した彼は、長らく乗客からの受動喫煙被害に遭っていたそうです。しかし2007年

8月から心配しなくて済んだと言っていました。

当時の雄踏文化センター大ホール空間は、凄（すこ）い呼気煙が充満しており、講演前の屋外灰皿はテニコ盛りの吸殻がありました。それが講演後はほぼ皆無になりましたので、企画としては成功でした。

あれから6年経ち、日本中のタクシークラスもかなり禁煙化されました。中には「禁煙タクシー」とは車両を禁煙化されたタクシークラスのことで、乗務員の喫煙の有無とは関係ないと誤認する運転手さんもいるでしょう。

いま一度タクシークラス業界は、最小の公共空間であることを認識する必要があります。タバコを吸わない乗務員が運転するのが「禁煙タクシークラス」の解釈が当たり前になる日を夢見て、これからも声掛けをしていきます。これまでもコツコツとした積み重ねを実践してきましたが、明日からも続けていくでしょう。如何なる政権であろうとも、ひとりひとりへの健康被害は変わることがないからです。